

## Code Composer Studio™

### ユーザー登録方法

2007 年 1 月改訂版

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. CCS Ver 3.3 のユーザー登録について..... | 2 |
| 2. アップデート・アドバイザーについて.....       | 6 |

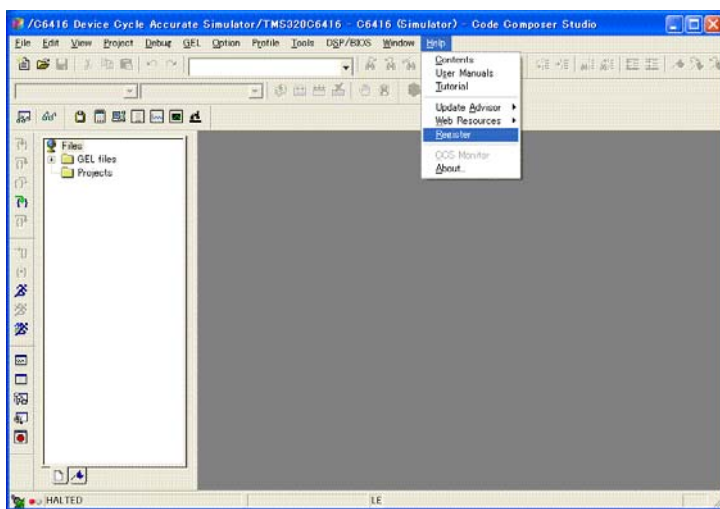
## 1. CCS Ver 3.3 のユーザー登録について

CCSのユーザー登録はオンライン(WEB)で行いますので、インターネットに接続されているPC上で実施する必要があります。

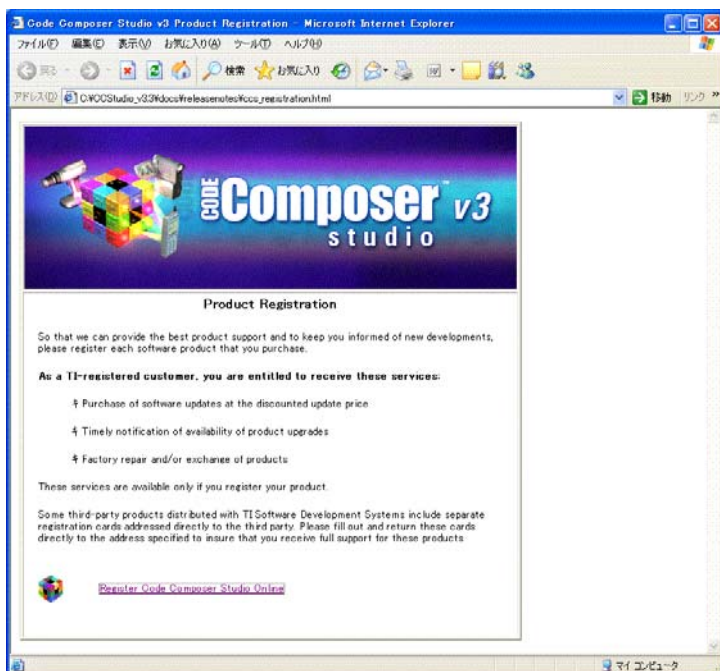
以下は、WEB ブラウザとして Microsoft 社の Internet Explorer の使用を想定して記述してあります。

ここでは、CCSを起動後にユーザー登録を行う手順を説明しますが、CCSのインストール時にユーザー登録を行う場合は、手順(4)からを参照してください。

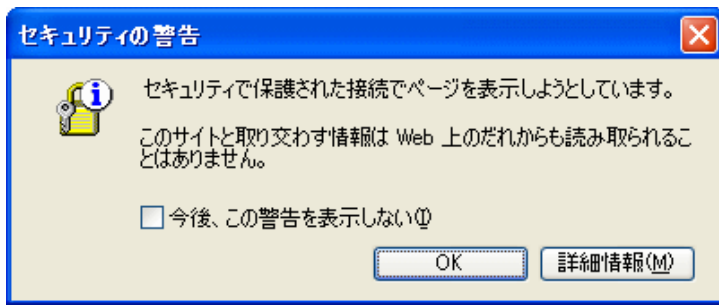
以下の手順でCCSのユーザー登録を実施してください。



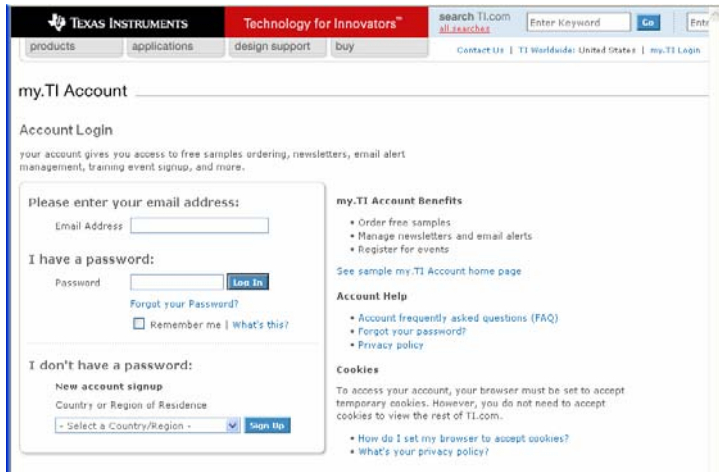
(1) Code Composer Studio を起動し、メニューの Help -> Register を選択してください。



(2) 製品登録画面が表示されますので、Register Code Composer Studio Online をクリックしてください。



(3) Windows の種類によっては「セキュリティの警告」画面が表示されることがありますが、[OK] ボタンをクリックして下さい。

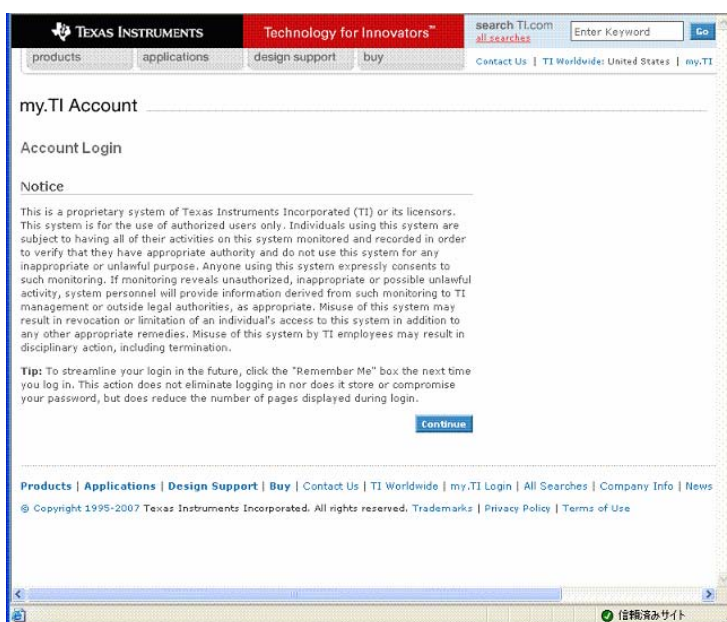


(4) Internet Explorer が起動し、左記の画面が表示されますのでログインしてください。

○ my.TI のアカウントを登録済みの場合には、Email Address と Password を入力し、[Log In] ボタンをクリックしてください。

○ Password を忘れてしまった場合には、その下の 'Forgot your password ?' を利用すれば、TI から新しい Password がメールで送られてきます。

○ my.TI のアカウントが未登録の場合には、「I don't have a password」の下の「Country or Region of Residence」プルダウンメニューから「Japan」を選択し、[Sign Up] ボタンをクリックしてください。次に現れる画面に必要な情報を入力し、登録を行ってください。登録できましたら、ブラウザの[戻る] ボタンをクリックして、左記の画面に戻り、ログインしてください。

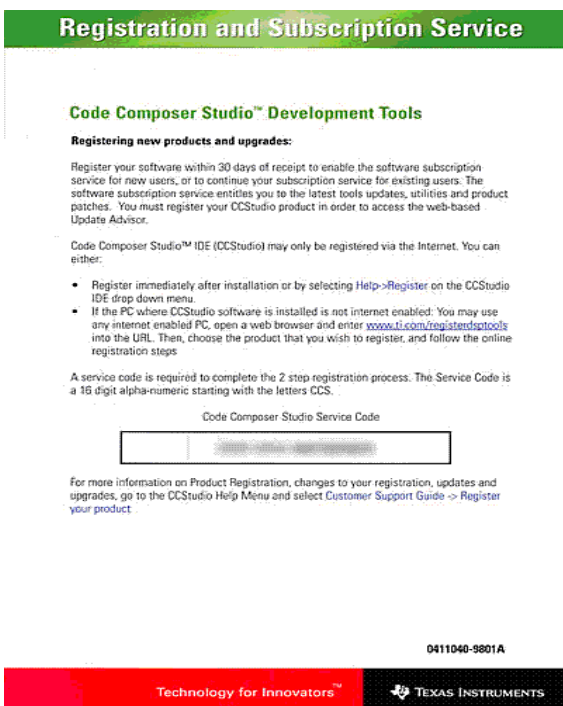


(5) ログインできましたら、左記の Notice が表示されますので、[Continue] ボタンをクリックしてください。



(6) Service Codeの入力画面が表示されますので、製品に付属する「Registration and Subscription Service」の紙に記載されている 16 桁の Code Composer Studio Service Code を入力して[Next] ボタンをクリックしてください。

**このサービスコードはアップデート・アドバイザ(Update Advisor)を通じてのサービスを受けるための大切なコードです。また、1 度しか登録できません。日本 TI への問い合わせの際にも必要になる場合がありますので、保管および管理を十分に行っていただきますようお願いします。**



**SDS Registration Survey**

All questions in bold are required to be answered.

- Other than TI's Code Composer Studio IDE, what other development platforms have you developed with recently?**
  - Microverks' Code Warrior
  - STM Microelectronics' SoftFoc1 InDART-STX Debugger
  - Intel CMXbug™ Debugger
  - Microchip MPLAB IDE
  - Renesas IDE
  - Other:
- What is the price range you typically pay for hardware debugging tools (target boards, emulators, etc.)?**
  - Between \$100-\$199
  - Between \$200-\$499
  - Between \$500-\$999
  - Between \$1000-\$1999
  - Between \$2000-\$4999
  - Above \$5000
- Which of the following on chip RTOS's do you currently use:**
  - DSP BIOS
  - ThreadX
  - Nucleus
  - Linux
  - DSP OS (Fusion)
  - CMX-RTX
  - Internal proprietary OS
  - Other:
  - Not using one
- With which programming language do you prefer to develop DSP software?**
  - Assembly
  - C
  - C++
  - Java
  - MatLab
  - UML
  - Other:
- Under which host operating system do you prefer to develop DSP software?**
  - Linux
  - Solaris
  - HPux
  - Win2000
  - Win98
  - WinNT
  - WinXP
  - WinME
  - Other:
- How did you first hear of Code Composer Studio IDE?**
  - Personal contact from Texas Instruments
  - Magazine/Trade paper article
  - Magazine/Trade paper advertisement
  - Distributor/Sales Representative
  - TI web site
  - Trade show
  - Other:
- In your development, please indicate which of the following target software you are planning to use. Check all that apply.**
  - DSP/BIOS real-time kernel
  - eXpressDSP-compliant algorithms
  - Reference Frameworks
  - None of the above

Products | Applications | Design Support | Buy | Contact Us | TI Worldwide | my.TI Login | All Searches | Company Info | News Releases | RSS | Site Map

© Copyright 1995-2006 Texas Instruments Incorporated. All rights reserved. Trademarks | Privacy Policy | Terms of Use

(7) Next をクリックすると左記のようなアンケート画面が表示されますので、それぞれの質問に回答し、最後に、Submit the Survey をクリックしてください。

質問内容は以下の通りですが、内容は変更になる場合があります。

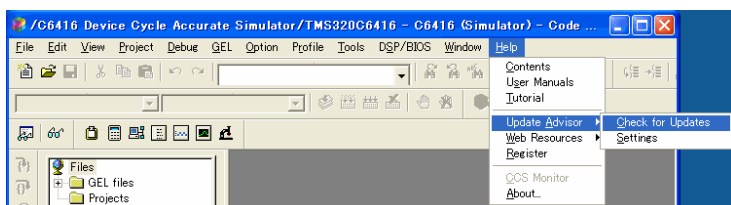
- TI の CCS IDE 以外では、最近どの開発プラットフォームを用いて開発されましたか？
- 一般的にハードウェア・デバッグ・ツール(ターゲット・ボード、エミュレータ等)に対して支払う金額の範囲はどの位でしょうか？
- オンチップ RTOS として以下のどれをご使用中ですか？
- どのプログラミング言語を使用してDSPソフトウェアを開発したいですか？
- どのOSの下で動作するソフトウェア開発ツールを使用してDSPソフトウェアを開発されたいですか？
- Code Composer Studio IDE はどこでお知りになりましたか？
- 開発の際、どのターゲット・ソフトウェアのご使用をお考えでしょうか？



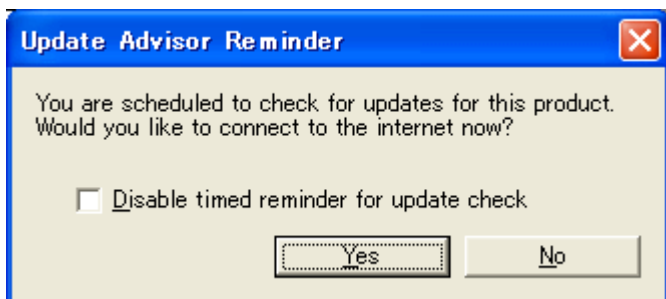
(8) 登録が完了しますと、左記の画面が表示されます。ブラウザを終了させてください。

## 2. アップデート・アドバイザーについて

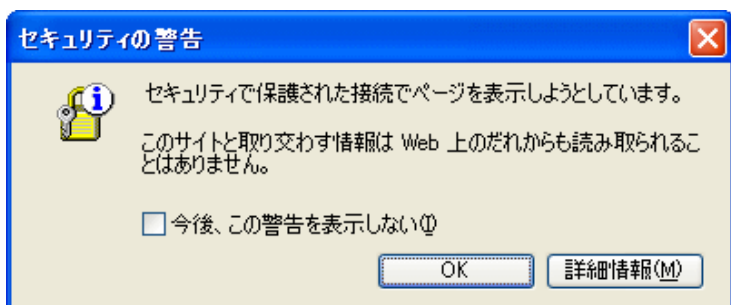
CCS のバグ情報 (パッチ)、新ユーティリティ、拡張機能、アップデート・ソフトウェア等の入手は、アップデート・アドバイザーを利用して行います。



(1) CCSを起動し、メニューの Help -> Update Advisor を選択してください。



(2) Update Advisor Reminder 画面が表示されましたら、[Yes]ボタンをクリックしてください。Internet Explorer が立ち上がります。



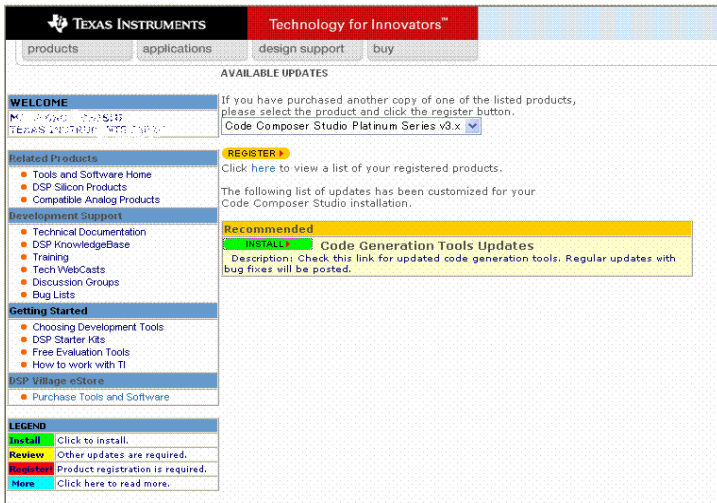
(3) Windows の種類によっては「セキュリティの警告」画面がでることがあります。

[OK] ボタンをクリックして下さい。

(4) Internet Explorer が立ち上がり、my.TI へのログイン画面が表示されます。

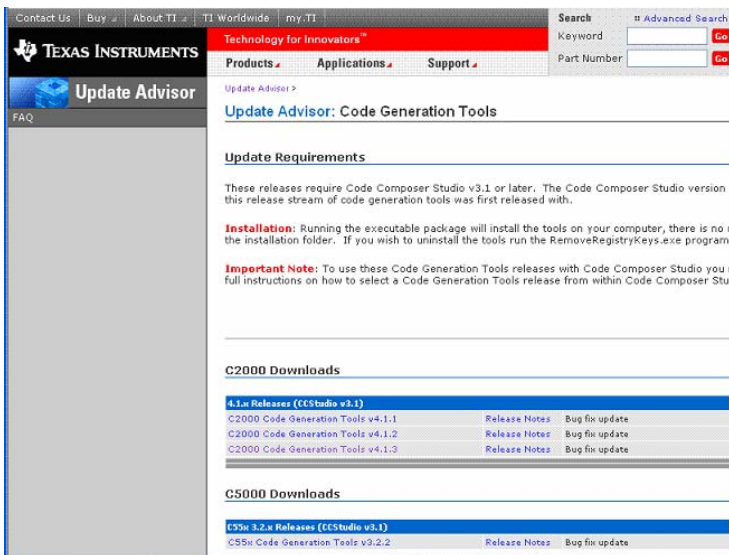
入力方法に関しては、「1. CCS Ver3.3 のユーザー登録について」の(4)と(5)を参照してください。

ログインを完了し、Notice 画面が表示されましたら、[Continue]ボタンをクリックしてください。

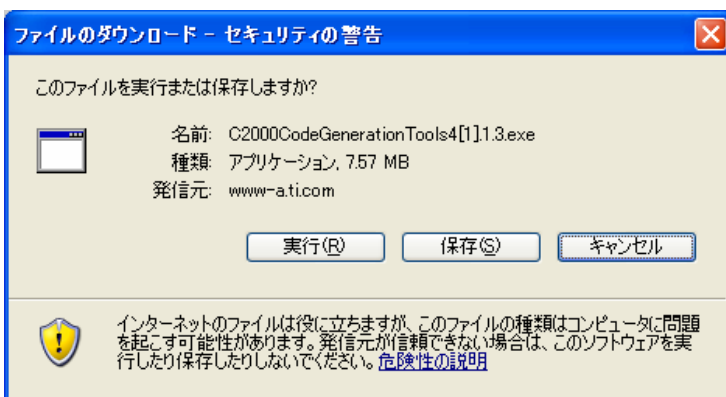


(5) Available Updates の画面が表示されます。INSTALLと表示されたものはダウンロードすることが可能です。

製品のユーザー登録がされていない場合は、INSTALLの代わりに REGISTER !が表示されます。この場合、製品のダウンロードはできません。ダウンロードを行う際には、REGISTER !をクリックして製品のユーザー登録を行ってください。「1. CCS Ver3.3のユーザー登録について」の(6)からを参照してください。



(6) 例として、Code Generation Tools Updates のINSTALL をクリックしてみます。左記の画面が表示されます。



(7) 例として、C2000 Code Generation Tools v4.1.3 をクリックすると、ファイルのダウンロード・ダイアログが表示されます。

ダウンロードして実行する場合は、[実行]ボタンを、ファイルに保存する場合は、[保存]をクリックしてください。尚、選択して右クリックでも同様の操作が出来ます。

TI 製品に関しては、以下のホームページをご覧ください。  
TI DSP プロダクツホームページ <http://www.tij.co.jp/dsp/>  
日本 TI プロダクト・インフォメーションセンター(PIC)  
<http://www.tij.co.jp/pic/>



日本テキサス・インスツルメンツ株式会社（以下TIJといいます）及びTexas Instruments Incorporated (TIJの親会社、以下TIJないしTexas Instruments Incorporatedを総称してTIといいます)は、その製品及びサービスを任意に修正し、改善、改良、その他の変更をし、もしくは製品の製造中止またはサービスの提供を中止する権利を留保します。従いまして、お客様は、発注される前に、関連する最新の情報を取得して頂き、その情報が現在有効かつ完全なものであるかどうかをご確認下さい。全ての製品は、お客様とTIJとの間に取引契約が締結されている場合は、当該契約条件に基づき、また当該取引契約が締結されていない場合は、ご注文の受諾の際に提示されるTIJの標準販売契約約款に従って販売されます。

TIは、そのハードウェア製品が、TIの標準保証条件に従い販売時の仕様に対応した性能を有していること、またはお客様とTIJとの間で合意された保証条件に従い合意された仕様に対応した性能を有していることを保証します。検査およびその他の品質管理技法は、TIが当該保証を支援するのに必要とみなす範囲で行なわれております。各デバイスの全てのパラメーターに関する固有の検査は、政府がそれ等の実行を義務づけている場合を除き、必ずしも行なわれておりません。

TIは、製品のアプリケーションに関する支援もしくはお客様の製品の設計について責任を負うことはありません。TI製部品を使用しているお客様の製品及びそのアプリケーションについての責任はお客様にあります。TI製部品を使用したお客様の製品及びアプリケーションについて想定される危険を最小のものとするため、適切な設計上および操作上の安全対策は、必ずお客様にてお取り下さい。

TIは、TIの製品もしくはサービスが使用されている組み合わせ、機械装置、もしくは方法に関連しているTIの特許権、著作権、回路配置利用権、その他のTIの知的財産権に基づいて何らかのライセンスを許諾するということは明示的にも黙示的にも保証も表明もしておりません。TIが第三者の製品もしくはサービスについて情報を提供することは、TIが当該製品もしくはサービスを使用することについてライセンスを与えるとか、保証もしくは是認するということを意味しません。そのような情報を使用するには第三者の特許その他の知的財産権に基づき当該第三者からライセンスを得なければならない場合もあり、またTIの特許その他の知的財産権に基づきTIからライセンスを得て頂かなければならない場合もあります。

TIのデータ・ブックもしくはデータ・シートの中にある情報を複製することは、その情報に一切の変更を加えること無く、かつその情報と結び付けられた全ての保証、条件、制限及び通知と共に複製がなされる限りにおいて許されるものとします。当該情報に変更を加えて複製することは不正で誤認を生じさせる行為です。TIは、そのような変更された情報や複製については何の義務も責任も負いません。

TIの製品もしくはサービスについてTIにより示された数値、特性、条件その他のパラメーターと異なる、あるいは、それを超えてなされた説明で当該TI製品もしくはサービスを再販売することは、当該TI製品もしくはサービスに対する全ての明示的保証、及び何らかの黙示的保証を無効にし、かつ不正で誤認を生じさせる行為です。TIは、そのような説明については何の義務も責任もありません。

TIは、TIの製品が、安全でないことが致命的となる用途ないしアプリケーション（例えば、生命維持装置のように、TI製品に不良があった場合に、その不良により相当な確率で死傷等の重篤な事故が発生するようなもの）に使用されることを認めておりません。但し、お客様とTIの双方の権限有る役員が書面でそのような使用について明確に合意した場合は除きます。たとえTIがアプリケーションに関連した情報やサポートを提供したとしても、お客様は、そのようなアプリケーションの安全面及び規制面から見た諸問題を解決するために必要とされる専門的知識及び技術を持ち、かつ、お客様の製品について、またTI製品をそのような安全でないことが致命的となる用途に使用することについて、お客様が全ての法的責任、規制を遵守する責任、及び安全に関する要求事項を満足させる責任を負っていることを認め、かつそのことに同意します。さらに、もし万一、TIの製品がそのような安全でないことが致命的となる用途に使用されたことによって損害が発生し、TIないしその代表者がその損害を賠償した場合は、お客様がTIないしその代表者にその全額の補償をするものとします。

TI製品は、軍事的用途もしくは宇宙航空アプリケーションないし軍事的環境、航空宇宙環境にて使用されるようには設計もされていませんし、使用されることを意図されておられません。但し、当該TI製品が、軍需対応グレード品、若しくは「強化プラスチック」製品としてTIが特別に指定した製品である場合は除きます。TIが軍需対応グレード品として指定した製品のみが軍需品の仕様書に合致いたします。お客様は、TIが軍需対応グレード品として指定していない製品を、軍事的用途もしくは軍事的環境下で使用することは、もっぱらお客様の危険負担においてなされるということ、及び、お客様がもっぱら責任をもって、そのような使用に関して必要とされる全ての法的要求事項及び規制上の要求事項を満足させなければならないことを認め、かつ同意します。

TI製品は、自動車用アプリケーションないし自動車の環境において使用されるようには設計されていませんし、また使用されることを意図されておられません。但し、TIがISO/TS16949の要求事項を満たしていると特別に指定したTI製品は除きます。お客様は、お客様が当該TI指定品以外のTI製品を自動車用アプリケーションに使用しても、TIは当該要求事項を満たしていなかったことについて、いかなる責任も負わないことを認め、かつ同意します。

Copyright 2008, Texas Instruments Incorporated  
日本語版 日本テキサス・インスツルメンツ株式会社

## 弊社半導体製品の取り扱い・保管について

半導体製品は、取り扱い、保管・輸送環境、基板実装条件によっては、お客様での実装前後に破壊/劣化、または故障を起こすことがあります。

弊社半導体製品のお取り扱い、ご使用にあたっては下記の点を遵守して下さい。

### 1. 静電気

- 素手で半導体製品単体を触らないこと。どうしても触る必要がある場合は、リストストラップ等で人体からアースをとり、導電性手袋等をして取り扱うこと。
- 弊社出荷梱包単位（外装から取り出された内装及び個装）又は製品単品で取り扱いを行う場合は、接地された導電性のテーブル上で（導電性マットにアースをとったもの等）、アースをした作業者が行うこと。また、コンテナ等も、導電性のものを使用すること。
- マウンタやはんだ付け設備等、半導体の実装に関わる全ての装置類は、静電気の帯電を防止する措置を施すこと。
- 前記のリストストラップ・導電性手袋・テーブル表面及び実装装置類の接地等の静電気帯電防止措置は、常に管理されその機能が確認されていること。

### 2. 温・湿度環境

- 温度：0～40℃、相対湿度：40～85%で保管・輸送及び取り扱いを行うこと。（但し、結露しないこと。）

- 直射日光があたる状態で保管・輸送しないこと。

### 3. 防湿梱包

- 防湿梱包品は、開封後は個別推奨保管環境及び期間に従い基板実装すること。

### 4. 機械的衝撃

- 梱包品（外装、内装、個装）及び製品単品を落下させたり、衝撃を与えないこと。

### 5. 熱衝撃

- はんだ付け時は、最低限260℃以上の高湿状態に、10秒以上さらさないこと。（個別推奨条件がある時はそれに従うこと。）

### 6. 汚染

- はんだ付け性を損なう、又はアルミ配線腐食の原因となるような汚染物質（硫黄、塩素等ハロゲン）のある環境で保管・輸送しないこと。
- はんだ付け後は十分にフラックスの洗浄を行うこと。（不純物含有率が一定以下に保証された無洗浄タイプのフラックスは除く。）

以上